

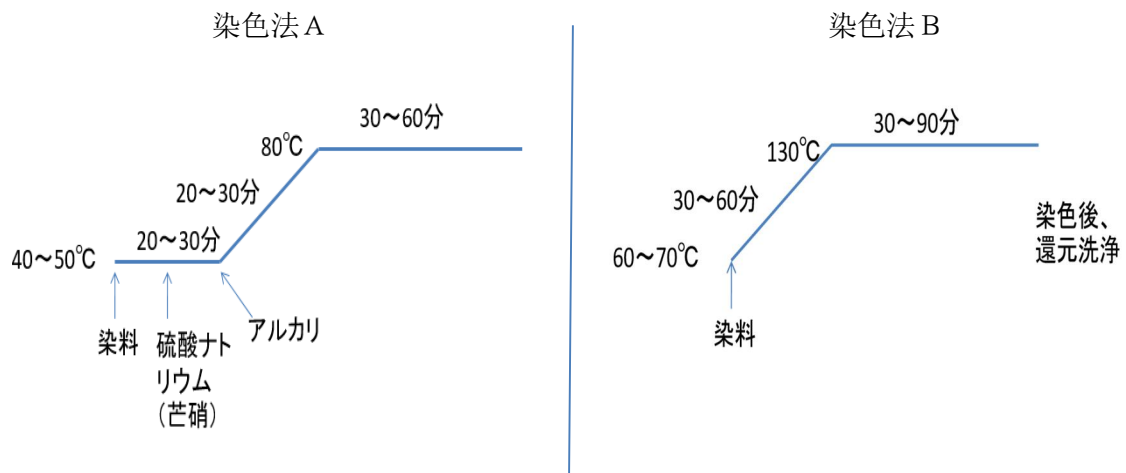
R7（2025） 選考考査 繊維工業技術者

問題 1 織物と編物（ニット）の一般的な違いについて、生地構造、生地特性それぞれの視点で簡潔に説明しなさい。なお、特性の違いは2つ挙げるものとし、特殊な装置や製造方法に起因するものは除外し、同じ素材を使用するものとする。

R7 (2025) 選考考査 繊維工業技術者

問題 2 次に示す染色法Aと染色法Bの図は染色する際の温度、時間、使用する染色助剤を示した染色処方例である。

それぞれ、染色する繊維の名称を語群1から、使用する染料を語群2から選んで、記号で答えなさい。



〔語群 1〕

ア. 綿 イ. ナイロン ウ. 羊毛 エ. ポリエステル オ. ポリウレタン
カ. アクリル

〔語群 2〕

キ. 酸性染料 ク. 分散染料 ケ. カチオン染料 コ. 反応染料 サ. 直接染料
シ. 硫化染料

R7（2025） 選考考査 繊維工業技術者

正答

問題 1

（生地の構造）

織物はたて糸、よこ糸を交錯させてつくられるが、編物は糸が屈曲してできるループのつながりでつくられる。

（生地の特性）

織物は保形性や引っ張り強さ、耐摩耗性が高く、編物は通気性、伸縮性、ドレープ性などが高い。

など。（相互に優位性が背反する特性が多いため劣る見方での書き方も可）

問題 2

染色法	繊維の名称 （語群 1）	染料 （語群 2）
A	ア	コ
B	エ	ク